

2017 冬 公共交通フォーラム

「交通結節点のあり方を考える

～ シームレスな移動を求めて」

私たちが移動するにあたり、一つの移動手段で完結するとは限らず、どこかで乗換え・乗継ぎが発生しますが、これらの場所や施設が「交通結節点」です。ここの使い勝手の優劣は私たちの日常生活にも大きな影響を与えますが、今回のフォーラムでは公共交通がより親しみのある移動手段となるよう、「交通結節点」の役割や機能について考えることとします。

基調講演の講師の方からは、ご自身が担当された結節点整備の実例などを基に、これからの横浜に求められる「交通結節点」のあり方について語っていただきます。

また事例報告として、交通事業者（横浜市交通局）の取組み、および乗換え検索ソフトの開発担当者から効果的な活用方法などの話を伺います。

さらには利用者の立場から、市内結節点における課題事例を報告します。

日時：平成29年1月21日（土）14:00～17:00（開場 13:30）

会場：横浜みなと博物館 訓練センター 第1教室

〈JR根岸線・市営地下鉄ブルーライン桜木町駅下車 徒歩5分〉

〈みなとみらい線みなとみらい駅または馬車道駅下車 徒歩各5分〉

基調講演 牧野 浩志氏（国土交通省 国土技術政策総合研究所 ITS 研究室長）

事例報告 ① 真籠 俊彦氏（横浜市交通局 自動車本部路線計画課長）

② 諸星 賢治氏（(株)ヴァル研究所 コンテンツ開発部）

③ 「横浜の公共交通活性化をめざす会」からの報告と提案



（整備が続く市内最大の結節点 横浜駅）



（適切な案内表示は不可欠 新横浜駅）

〈参加費〉 資料代 1,000円（学生 500円） 事前の申込み不要

問合せ先：横浜の公共交通活性化をめざす会 小田部（090-6544-1422）

主催：横浜の公共交通活性化をめざす会 共催：横浜にLRTを走らせる会

後援：横浜市都市整備局（申請中）